



GE の 2015 年第 3 四半期業績発表

- インダストリアル・セグメントの営業利益と垂直分野のEPS合計は+16%増の0.29ドル
- 継続事業による今期GAAP EPSは増減なしの0.28ドル
- 2015年のインダストリアル・セグメントの営業利益と垂直分野の利益予想は変更なし
- GEは来週からSynchrony株式交換を開始し、GE浮動株の6~7%を償却予定

GE インダストリアル・セグメントの営業利益と垂直分野の利益に相当する EPS

継続事業による GAAP ベースの EPS

GE CFOA (今年度累計)

GE インダストリアル・セグメントと垂直分野の売上

インダストリアル・セグメント

セグメント利益

利益率

\$0.29

+16%

\$0.28

0%

\$65 億

-9%, +23%
インダストリアル CFOA

\$279 億

-2%, 内部成長率+2%,
インダストリアル・セグメントの
内部成長率は+4%

\$45 億

+5%, +9%
内部成長率

17.3%

+100bps

ハイライト

- インダストリアル・セグメントの営業利益は 5%増、内部成長率は 9%増で、7 部門中 5 部門で利益増、オイル&ガス事業の内部成長率は横ばい
- 産業部門の内部売上成長率は 4%増
- インダストリアル・セグメントの営業利益率は 100 ベースポイント増、売上総利益率は 80 ベースポイント増
- インダストリアル・セグメントの今年度累積 CFOA は 23%増の 61 億ドル
- 受注残高は 2,700 億ドル、前年同期比で 5%増
- アルストム パワー & グリッド買収のための規制承認を取得
—今後数週間で取引を完了予定
- 再編を除く 1 株当たりの利益は 0.02 ドル

GE キャピタルの最新ポートフォリオ

- GE キャピタルの事業縮小に関して 1,260 億ドルの契約を締結。年末までに最大 1,000 億ドルの契約達成という目標に向けて順調に推移している
- 垂直分野が好調で、当四半期の EPS は 0.03 ドル、2015 年度の EPS 目標 ~0.15 ドルに向けて順調に推移
- 2015 年の配当金は最大 30 億ドルとなる予定。2016 年の配当目標 180 億ドルに向けて順調に推移
- 来週から Synchrony 株の交換を開始

「変化の激しい環境において GE の当四半期の業績は堅調でした。インダストリアル・セグメントの利益が増加し、利益率も 100 ベースポイント増となりました。GE キャピタルの事業縮小計画は前倒しで進んでおり、2015 年の GE キャピタルから親会社への配当金は最大 30 億ドルになる見込みです。今週、法人向け融資事業を 300 億ドルで売却することを発表しました。これによって累積契約金額が 1,260 億ドルになります。さらに、来週から Synchrony 株式交換も開始し、発行済みの GE 株式数を大幅に減少します。このような交換と配当金により、2015 年に株主に最大 300 億ドルを還元するという目標達成に向かって順調に推移しています。」

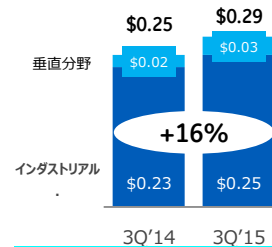
ジェフ・イメルト
GE 会長兼 CEO

インダストリアル・セグメントの 1 株当たり営業利益 (EPS) は 9% 増の 0.25 ドル インダストリアル・セグメントの実績

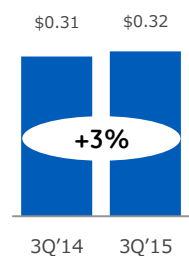
	第 3 四半期	実績	内部成長率 %
受注高		\$232 億	-26%
売上		\$262 億	-1%
営業利益		\$45 億	+5%
内部成長率 %			+9%
今年度累積			
受注高		\$734 億	-9%
売上		\$775 億	-1%
営業利益		\$124 億	+6%
内部成長率 %			+11%

業績

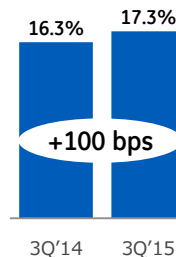
インダストリアル事業の営業利益 + 垂直分野の EPS



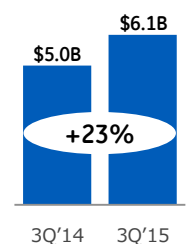
1株当たり営業利益 (EPS)



インダストリアル・セグメントの営業利益率



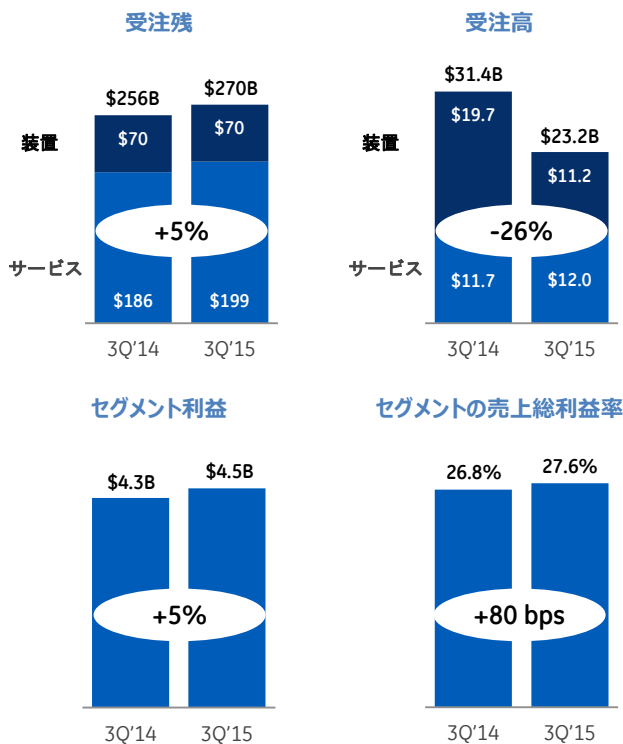
インダストリアル・セグメントのキャッシュフロー (今年度累積CFOA)



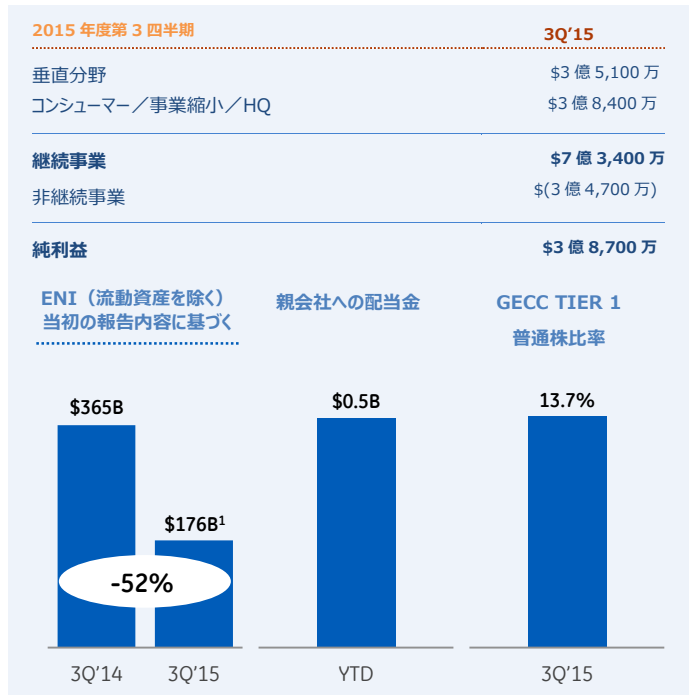
インダストリアル・セグメントの取引に関するハイライト

-  **パワー&ウォーター**： 第3 四半期中の HA タービン受注は 4 基、受注残は 21 基
 -  **ヘルスケア**： Temple University Health System との付加価値ベースの放射線画像診断サービスでコラボレーション
 -  **ヘルスケア**： cSound（ローカルビッグデータ）技術搭載の循環器用超音波診断装置の発売を開始
 -  **アビエーション**： カンタス航空と CIT Aerospace で Genx が受注。カンタス航空およびサウスウエスト航空と Flight Efficiency Services（フライト効率サービス）契約を締結。
 -  **エナジーマネジメント**： 潮力発電を新たに導入する Swansea Bay と 1 億 5,500 万ドルの契約を締結
 -  **分散型電源**： 新しい LM6000 PF+ 航空機エンジン転用型ガスタービンを 6 台受注
 -  **オイル&ガス**： Statoil と海中サービス契約を締結
 -  **トランスポート**： 第3 四半期中に Tier-4 に準拠した機関車を 201 両出荷し、累積出荷数は 500 両以上を達成
- GE ストアのハイライト**
-  **インダストリアルインターネット**： 毎年開催している Minds + Machines イベントで、GE はソフトウェアとソリューションによる今年の売上が 50 億ドルに達し、受注高は 60 億に達する見込みだと発表
 -  **テクノロジー**： GE の研究者は、GE の高度な炭化ケイ素技術を採用した、世界で最も効率の高いメガワット規模のソーラーコンバーターのデモに成功した
 -  **Current の立ち上げ**： GE はライティング、デジタル、ソーラー、エナジーマネジメントの技術を活用した売上 10 億ドル規模の社内スタートアップ組織、Current の立ち上げを発表した
 -  **GE2GE Synergy**： パワーコンバージョンは、1 億 2,000 万ドルの低圧コントロールとスイッチギアを Alstom に販売

インダストリアル・セグメントの営業実績



2015年第3四半期GEキャピタルのハイライト



非継続事業を含むと 2,710 億ドル

²Basel 3 Tier 1 普通株式比率は、米国の標準暫定基準に基づく

「GE の業績は 2015 年の目標達成に向けて順調に推移しています。ポートフォリオの変更もかつてないほどの速さで進んでいます。重点を絞ったインフラストラクチャ事業を推進しつつ、市場でのリーダーシップを発揮しています。GE は競合他社よりも成長スピードが速く、配当金の面でも魅力的です。営業利益と営業総利益率の増加により、コスト削減の取り組みとコンパクト化を推進しています。サービスの受注残が 1,990 億ドル分ある GE は、あらゆるサイクルに対応することができます。お客様が求めている成果を達成しながら、利益率を高められるユニークな立場にある GE は、世界のトップクラスのデジタルインダストリアル企業に成長したいと考えています。」 ジェフ・イメルト GE 会長兼 CEO

2015年第3四半期の決算ハイライト

今年度のハイライト

営業利益		
利益	EPS	
\$33 億	\$0.32	
インダストリアル事業の営業利益と垂直分野の利益		
利益	EPS	
\$29 億	\$0.29	
継続事業による GAAP 利益 (GE に帰属するもの)		
利益	EPS	
\$29 億	\$0.28	
GAAP ベースの純利益 (GE に帰属するもの)		
利益	EPS	
\$25 億	\$0.25	
売上		
売上	インダストリアル事業 の売上	GECC
\$317 億	\$256 億	\$63 億

営業利益		
利益	EPS	
\$(7 億)	\$(0.07)	
インダストリアル事業の営業利益と垂直分野の利益		
利益	EPS	
\$80 億	\$0.80	
継続事業による GAAP 利益 (GE に帰属するもの)		
利益	EPS	
\$(21 億)	\$(0.21)	
GAAP ベースの純利益 (GE に帰属するもの)		
利益	EPS	
\$(124 億)	\$(1.23)	
売上		
売上	インダストリアル事業 の売上	GECC
\$927 億	\$756 億	\$175 億

第3四半期の業績の詳細は

以下をご覧ください。

[www.ge.com/
investor](http://www.ge.com/investor)

関連するチャートを GE のウェブサイトに掲載しています。

本書には一般会計基準 (GAAP) に基づかない財務諸表の情報も含まれています。この種のデータは、SEC基準では「非GAAP財務指標」として扱われます。こうした非GAAP財務指標は、本リリースで発表したGAAP指標を補足するものであり、代替するものではありません。ここでは以下を示しています。

- インダストリアル事業の営業利益とEPS、GEキャピタルの営業利益 (損失) とEPS
- GEインダストリアル事業の営業利益と垂直分野の利益に相当するEPS
- GEインダストリアルセグメントと垂直分野の売上
- インダストリアル事業の内部売上成長率
- インダストリアル事業の内部営業利益成長率
- インダストリアル部門の営業活動によるキャッシュフロー (インダストリアル CFOA)
- 流動性資産を除くGEキャピタルの最終正味投資額 (ENI)
- GECCのTier 1普通株式比率予測

別紙の財務諸表には、この種の非GAAP財務指標を使用している理由と、最も類似したGAAP財務指標との照合内容が記載されています。これには、当社の財務状況、業績およびキャッシュフローを測定するうえで不可欠な情報も含まれています。

注記：リリース内のグラフに十億単位で記載されている金額は、百万単位の金額を基に計算したものです。そのため、丸め処理によって、十億単位の項目の合計が、記載されている合計金額と一致しない場合があります。表内の特定のカラムや列の数字は丸め処理しているため、合計と一致しない場合があります。記載された割合は、基礎になっている百万単位の数字を基に計算しています。

GEの投資家向けウェブサイト www.ge.com/investor、コーポレート・ブログ www.gereports.com、当社のFacebookページおよびTwitterアカウント

(@GE_Reportsを含む) にはGEに関する情報のほか、財務や投資家の皆さま向けの情報が多数掲載されています。これらのウェブサイトにおいて、情報の更新および新たな情報掲載がなされるため、投資家の皆様には随時ウェブサイトをご覧くださいことを推奨いたします。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」、「予想する」、「つもりである」、「計画する」、「信じる」、「探し求める」、「見込む」、「〜であろう」、「〜だろう」、「〜を目指している」といった言葉を含むことがよくあります。将来予測に関する記述は、金融サービス事業の規模縮小について発表済みの計画と、この計画に伴う現金および現金以外の料金、収益予想、1株当たりの収益、売上、内部売上成長率、利益率、コスト構造、再編費用、キャッシュフロー、資本回収率、資本分配または資本構造、配当、インダストリアル部門とGEキャピタルの利益配分など、様々なレベルで不確定な事項を含んでいます。GEの実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、発表済みの金融サービス事業の規模縮小計画に伴う規制確認または承認、その他の同意や承認の取得（またはその時期）；この計画の一環として段階的な資産売却を適時（または実際に）、そして予定していた価格で完了する能力；金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む法律や財務状況の変化と、これらが発表済みの金融サービス事業の規模縮小計画の一環として段階的に資産を売却する能力やその価値、この計画の他の側面に及ぼす影響；GECCの資金調達の可能性やそれに伴う費用、取引先に対するGECCのリスクに影響を及ぼす、経済・金融市場の状況；法人金融・個人向け金融が債務不履行（デフォルト）になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移；当社の損失可能性見積りを含む債務予想に影響を及ぼし得るWMCのモーゲージローン融資に関する係争中または将来的な請求・訴訟、当社が現在の信用格付けを保持できる能力；当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響；四半期配当を計画どおりに実施する、もしくは自社株買いを計画どおりに実行する当社の能力に影響を及ぼし得る当社のキャッシュフローや利益およびその他の状況；GECCからGEへの計画どおりの配当金支払い実行能力に影響を及ぼし得るGECCのキャッシュフロー、金融サービス規制や監督その他の要因；内定受注（コミットメント）/落札の成約率；定価での内定受注/落札後の実際の受注価格；当社の客先である主要産業からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況に影響を及ぼす可能性がある航空機の早期廃棄やエネルギー需要の低下などの顧客の動向や展開；GEのリスク管理フレームワークの効果；法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響（金融関連法令や訴訟の影響を含む）；Synchrony Financialのスプリットオフを予定どおり行うことができないような市場環境の悪化、必要な銀行規制承認を取得する時期や能力、その他GEやSynchrony Financialに関連する要因；自社株買い戻しや買収・合併事業・売却などの戦略的行為の時期や規模などに変更を生じさせ、影響を及ぼす可能性のある当社の資本配分計画；必要な規制承認取得を含むAlstom、アプライアンスとの取引や提携などの発表済みの案件完了、発表済みの金融サービス事業の規模縮小計画達成、利益とコスト削減効果を実現する能力；買収した事業の統合や合併事業の成功；情報技術またはデータセキュリティ侵害が発生した場合の影響；2014年12月31日終了年度のForm 10-K年次報告書で「リスク要因」として記載したその他の要因が含まれます。こうした不確実性により、将来におけるGEの実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GEは「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

この文書には「将来予想に関する財務情報」、すなわち現在と将来の予測に基づく情報が含まれています。実際の業績はこれとは実質的に異なる可能性があります。

本書には一般会計基準(GAAP)ベース以外の財務情報も含まれることがあります。経営陣は、当該情報を業績の社内分析に利用しており、当社の財務状況の測定・業績トレンドの判定・有意義な期間別業績比較という観点から、当該情報が投資家の皆様にとっても参考になるものと考えています。本書で述べる非GAAP測定基準の照合については、当社英語ウェブサイトwww.ge.comの投資家向けセクションに掲載の別添補足情報をご覧ください。

本書における「GE」とは、持ち分分子会社としてのGECCを含む、当社のインダストリアル事業を指しています。「GE（GECCを除く）」および/もしくは「インダストリアル」とは、金融サービスを除くGE事業を指しています。